

小池直太郎 （小池直太郎） 民俗學者。明治二十七年十一月十二日長野縣更級郡青木葛村生れ、昭和十八年三月十五日歿（八十五―一九四三）。大正二年長野縣師範學校卒業後、縣内の教育界に終始。後ら柳田國男の新學として民間傳承の研究に携はり、「爐邊叢書」の一冊「小谷口碑集」（大正十一年刊）を著した。他、由尾實の指導を受けて國語教育に關する論文を『信濃教育』に發表。また小林一茶を中としたる俳諧研究に参り込み、信濃教育會編輯部主任として古今書院版「一茶叢書」全十四冊（大正十五年―昭和五年刊）を刊行した。

西原文虎稿『一茶翁終焉記』（昭和十七年十月一日長野・小池直太郎編輯）を校訂出版。遺稿『夜啼石の話―信濃民俗誌』（昭和二十一年九月二十日筑摩書房）がある。

